

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年6月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300732
法人名	有限会社 祓川養魚場
事業所名	グループホーム 湧水の里
所在地	鹿児島県鹿屋市祓川町5250番地8 (電話) 0994 - 43 - 2514
自己評価作成日	平成31年4月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和1年5月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

すぐ近くの山では野鳥のさえずりが聞こえ、すぐ近くの池では鯉が泳いでいる湧水の里、豊富な自然に囲まれゆっくりとした時間が流れる中を利用者の皆様は、大好きな散歩を楽しんでいらっしゃいます。春は桜に藤の花、秋は黄金色のたんぼなど、季節を目と肌で感じながら時には外で昼食会を楽しんでいます。ホームでは毎週1回の訪問看護もあり、利用者の皆様の状態を報告したり、掛かりつけ病院の先生による定期受診にて体調管理に努めています。どこにでもあるような暮らし「皆で夏野菜を植えよう」「みどりのカーテンを育てよう」「ひまわり喫茶でホットケーキを焼こう」と楽しんでいます。ご家族の面会もあり賑やかで何かと楽しい我が家です。

- ・当事業所は、同法人のデイサービスセンターや有料老人ホームが隣接している。法人内のイベントや合同避難訓練等で利用者の交流が行われ、職員の協力体制も築かれている。
- ・町内会に加入し、地域行事の清掃や八月踊り、小学校の運動会に参加したり、棒踊りを事業所で披露してもらっている。法人の春祭り及び秋祭りには地域住民の参加もあり、地域との交流に努めている。
- ・消防団長が運営推進会議の委員であり、避難訓練の際も参加協力を得られて防災についての助言・情報を事業所運営に活かしている。
- ・個々の利用者の希望する医療機関との連携体制が構築され、定期的な受診と利用者の状況に応じた訪問診療も実施されている。訪問看護師との連携も図られ、緊急時も適切な医療を受けられるよう支援している。
- ・管理者・職員は、利用者が自然に恵まれた環境の中で四季を肌で感じながら、穏やかに毎日を笑顔で過ごせるよう理念に沿った支援に取り組んでいる。研修受講の支援や毎月の勉強会を実施し職員のレベルアップに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「明るく豊かな人と人とのふれあい」「毎日を笑顔で過ごしましょう」「地域と共に」の理念の下、日々の生活の中で春祭りの開催やホームでの蕎麦作りでふれあいの機会を設けている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を玄関や事業所内に掲示し、申し送り時に唱和して共有を図っている。ケア会議や日々の申し送り時に振り返りを行い、理念の実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に入れていただき町内会行事〔祓川棒踊り〕を湧水の里で披露して下さったり、毎月行事計画をたて薔薇見学苺狩りみかん狩り等外出し交流が図れている。	町内会に加入しており、地域行事や清掃、小学校の運動会等に積極的に参加している。法人の春・秋祭りに地域の住人の参加もあり交流がある。運営推進会議や避難訓練に消防団の参加を得る等、地域との協力体制を築いている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	家族会に今年も全家族の参加を頂き認知症についての学びの場を設けている。見学される方にはグループホームについて説明を行い、地域の皆様との関係を大事にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>、町内会長・消防団長・家族の代表の方々の意見を頂き行事計画を立てたり、湧水便りを見ながら活動報告を行っている。外部評価についても地域の皆様に助けられながら良い報告が出来る。</p>	<p>2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し事業所の状況報告と意見交換を実施している。町内会長や消防団長からの防災についての情報・助言及び、行政からの季節に応じた注意等を、サービスの向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市町村との連携を密にとり運営推進会議にも参加して頂き助言頂いたり、高齢者虐待や熱中症等の資料にて注意喚起もありホームの毎月の内部研修にて全職員で勉強している。</p>	<p>市担当者とは、窓口に出向く他、電話やメール・FAXで事業所の実情や取り組みを伝えたり情報を得る等、連携を深めている。運営推進会議を通して協力関係もできている。市福祉課の担当者とも密に連絡し、市主催の研修会にも積極的に参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束については定期的な勉強会を行っていて、身体拘束による弊害についても職員が理解しているが、常に勉強会で学ぶことを繰り返しながら理解をさらに深めている。</p>	<p>指針があり、身体拘束廃止委員会を毎月開催し、勉強会は年2回実施している。勉強会では、言葉かけに関することや事例検討等を実施している。日中の玄関の施錠はせず、法人内職員の見守りも得て、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。地域の見守りもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	開かれたグループホーム作りに努めご家族の面会も多い。玄関を開けてホーム周辺の散歩に出かけ鍵をかけない工夫もし、高齢者虐待防止についても定期的に勉強会を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	職員に成年後見人をしていた者がおり必要があれば活用できるよう支援できる。権利擁護に関するホーム内外の研修会にも参加スタッフ全員で勉強行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用契約時の説明は丁寧に行っている。不安や疑問点には分かりやすく十分な説明に努め、理解納得を得られてから契約を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族の面会時にはお茶しながら何でも話して頂けるよう声掛け行い対話の場を設けている。ホーム内では常に声掛けながら気付いたことを話し合いより質の高いサービスに努めている。	利用者からは日常の会話や担当者会議時に要望等を聞いている。家族からは運営推進会議や年2回の家族会・面会時に意見等を聞いている。手引き歩行の要望が出された際に、ケアの中で実際に行っていることを写真等で示して理解を得た例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の職員会議で職員の意見を聞く場を設けており、皆で意見を出し合ってより良いグループホーム作りに結びついている。	毎月の職員会議及びユニット会議で、職員の意見を聞く機会を設けている。ケアに関する意見等が多く出されているが、まず意見を試行してみて、反映を図っている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員全員で勉強しながら働きやすい明るくやりがいのある職場作りを心掛けている。湧水の里の食事会も計画し親睦を図っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の外部研修参加計画を作り研修に参加している。またホーム内研修では毎月勉強したことをレポートにまとめて提出している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ネットワーク作りを行い地域の同業者と交流を行っている。毎月の勉強会でそこでの情報も取り入れてサービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ホーム内外の環境に慣れて頂くよう散歩をしたり話ながら本人の思い、困りごと、不安等に職員全員で耳を傾け寄り添い信頼関係をまず築くことに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	オープンなグループホーム作りに努め面会も多い。最初は不安も強いと思うのでご家族と話をする場をもうけ、何でも話していただけるよう声掛けしながら要望等話していただいている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時の本人にとって何が一番かを話し合いながら時にはドクターの意見も頂いて本人が落ち着いて生活できるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	体調に応じて一緒にラジオ体操をし、散歩に出かけ、洗濯物干し畳み、料理の下準備、お茶の準備と声掛けしながら毎日と一緒に過ごしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会も多く一緒に外出して昼食を共にされたり、銭湯に出かけたりされている。、又病院受診と一緒に出かけたり協力を頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	遊びに来て下さる知人の方も有り、居間にて一緒にお茶タイムを楽しまれたり、正月は自宅に戻りご家族と一緒に昼食を摂りながら一時を過ごしたりされている。	家族や知人と居室でお茶を出して話しやすい雰囲気作りをしている。遠方の家族には「湧水の里便り」で報告し、電話やメール、手紙の取次ぎなども行って、継続的關係が途切れないよう支援している。家族の協力で一時帰宅や外出・墓参などの支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	楽しく会話する場を確保し馴染みの関係がそれぞれに深まっていくよう努めている。和室では洗濯物をたたんだり、テレビで大相撲観戦したり歌番組を一緒に見ながら思いのままに過ごされている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要とすご家族や利用者の方々と連絡をとりあい、付き合いを大事にしている。退去されたご家族が遊びに来て現況を話して下さったり面会にも行かせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の方々の希望に沿って年間行事計画を立てたりご家族の面会時には生活の意向本人の思いも伺いながらサービスにつなげ、利用者の方々ご家族の思いに答えている。	日常の会話で食べたい物や興味のあることについて聞き、連絡ノートや申し送り時に職員間で情報を共有し、ケアに取り入れるように検討している。困難な場合は利用者の視点に立って職員で話し合い、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、本人・ご家族も交えてこれまでの暮らしぶりを伺っている。一人一人のおおかたの生活暦は職員全員把握して本人の思いに寄り添っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェックを行った後、お茶時食事時離床される方の水分補給や食事介助に努め、体調の良い方はご家族、本人の希望でホーム周辺の散歩に出かけたりしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者の方々やご家族に生活の意向や、満足度を伺いながら毎月のケア会議にて話し合いをし、今よりもっと利用者の方々の笑顔や自信を引き出せる介護計画作成に努めている。	本人や家族・職員で担当者会議を実施し、申し送りやミーティング時に職員で検討し介護計画を作成している。モニタリングは毎月のミーティング時に実施し、6ヶ月毎の見直しと状況変化時に現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録では皆が見て分かりやすい記録をとり個別にファイルしている。朝・夕の引継ぎにて情報を共有し、より良いサービスに結びつくよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎月歯のメンテナンスを希望される方は歯科受診を行ったり、介護度が高くなり体調に変化がある利用者様のご家族には宿泊も出来ることを説明し、状況に応じて対応できるようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員・町内会長・消防団等の協力の下、様々な行事計画を立て、地域の消防団の協力の下火災避難訓練も行い皆さんの協力のおかげで安心な暮らしが出来ている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	全員、かかりつけ医があり定期受診を行っている。病院受診はご家族の協力も得られて適切な医療が受けられている。ご家族の希望で月2回の往診を受けてる方もいる。	契約時に、かかりつけ医の希望を聞いている。定期受診は職員同行で対応し、結果を家族に報告しており、訪問診療を希望する利用者もある。訪問看護師の健康管理もあり、適切な医療を受けられるようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護利用時は、利用者の方々の今の状態を丁寧に説明を行っている（検温者や皆さんの食事量排便等）。又利用者の方々の直接の話も聞いていただいている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は度々病院を訪ね本人の状態を確認したり、病院関係者との情報交換を行いながら本人にとって一番良い退院日を先生ご家族と一緒に決めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>介護度が上がった段階で、かかりつけ医・本人・ご家族と相談しながら本人にとってベストな方針支援に取り組んでいる。ドクターよりご家族への丁寧な説明もして頂いている。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について同意を得ている。状況変化に伴い、家族の意向を確認し、支援に取り組んでいる。訪問介護利用もあり、職員で勉強会も行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生時のマニュアルもあり、応急手当やマニュアルの勉強会も行って実践力に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>中央消防署や地域の方々の協力の下、火災避難訓練・地震訓練を定期的に行っている。今年も水害訓練もおこなった。火災・災害時における近隣住民の協力連絡網もあり、協力を得られる体制も築いている。</p>	<p>年2回の避難訓練を夜間想定で実施し、1回は消防署の立ち会いで行っている。自主訓練時は消防団の参加協力があり、法人内の協力体制も築かれている。スプリンクラーや緊急通報装置も設置されている。非常用の備蓄は水・缶詰・ラーメン・ご飯等の食料とカセットコンロ・ヘルメットも準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	皆さん自分に自信と誇りを持って生活されているので、声掛けにも基本的な「です、ます」を使い笑顔で挨拶から1日が始まっている。	研修会や勉強会を行い、各自レポートを提出し、職員の資質向上に向けて取り組んでいる。入室時や入浴介助、排泄介助などでは羞恥心に配慮を行い、個々の誇りやプライバシーを損ねない対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	歯科受診で歯のメンテナンスを毎月楽しみに希望される方にはその支援をおこなったり、年間行事計画もどこに行きたいか何をしたいかゆっくり対話しながら皆できめている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外に出ると顔が輝く方は散歩に出かけたり、自室で休みたいと話される方は体調管理に努めながらゆっくり休んで頂いている。養生堂さんが来ると嬉しそうに話をされたり、一人一人のペースを大切に支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎週日曜日は手足の爪切り、火曜日は白ワセリンで足のマッサージを行っている。訪問理容のボランティアで髪をカットして頂いたり、訪問美容にて眉カットして頂き喜ばれている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お茶の準備や配膳を一緒にしたり、食事前には嚥下運動やおはら節を唄ってから「いただきます」を代表で言って頂き全員で楽しく食事をしている。	献立は調理担当職員が作成し、嗜好に配慮し旬の食材で、個々に応じた食事形態を工夫している。下ごしらえや配膳・食事・下膳を一緒にしており、旬の物や誕生日の好物・季節の行事食、庭での食事等、楽しめるように工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	牛乳寒天やとろみ茶、ゼリー等はこまめに摂って頂き食事量水分量を記録している。ミキサー食の方には高カロリーゼリーを提供しておおよそのカロリー栄養バランスを把握している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎年協力医療歯科より歯科検診と口腔ケアの指導が有り勉強した事を活かして洗面所にて口腔ケア義歯洗浄介助の支援を行っている。また1日置きにポリデント洗浄も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意があったりなかったりする一人ひとりの排泄パターンを職員が把握してトイレ誘導を行い失敗時は声掛けに十分気をつけながら下着、ズボンの着替えを支援している。	排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、声かけや誘導、見守り等で日中はトイレでの排泄を基本に支援している。適切な排泄用品の使用を検討し、布パンツに改善した例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ラジオ体操や健康体操で体を動かしたり、散歩に出かけ良く歩かれている。おやつにサツマイモ煮を提供したり、便秘症の方はドクターに相談している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本は一日おきの入浴で、前の日に入らなかった人は次の日に入ってもらったりしている。風呂好きになってもらうよう声掛けも行っているが個人差はある。	週3回の入浴を基本に、個々の体調や希望に沿って実施している。清拭・足浴等を実施したり、失禁時のシャワー浴で、清潔に気持ち良く過ごしてもらえるようにしている。2人介助も対応しており、ゆず湯等入浴を楽しむ支援をしている。入浴を拒む利用者も声けや時間調整など職員間で連携し支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一日の流れの中で生活リズムをつくり、散歩に出たりお茶の時間を楽しんでもらっている。眠れない人は夕方の光をあびていい眠りを誘うよう散歩に出たりしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服の説明書はいつでも見られる所においてあり、職員は用法用量を理解している。薬が変わった時は個人ケースへ記録し引継ぎにて説明を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>生活暦は職員が理解していて、今日の月日、曜日を発表してくださる方、いつも学校の先生を言われる方はラジオ体操を皆さんの前でリードして下さり、踊りの師匠さんは音楽に合わせて踊りを楽しんでおられる。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>毎日ホーム周辺の散歩を楽しまれている。ご家族と外出に出かけたり季節ごとにお花見昼食会 苺狩り・みかん狩り・ぶどう狩り・又個別の計画も立て生まれ育った海の近くまでドライブに出かけたりしている。</p>	<p>車椅子の利用者も毎日、周辺の散歩をしている。年間計画を作成し、初詣や季節の花見、イチゴ・ミカン・ブドウ狩りに出かけ、希望でドライブや買い物に同行することもある。家族と法事や外出等で外出する利用者もあり、できるだけ出かけられるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>病院受診時、預かり金を持っていただき一緒に支払いをしたり、売店に出かけヤクルトの買い物をして喜ばれている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>毎年暑中見舞いや年賀状を職員と一緒に書いて出されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	時計やカレンダーも目に付く所に掛けてあり、居間には散歩の途中摘んだ季節の花を飾ったりしている。部屋掃除、トイレ掃除を毎日行い清潔なホームで穏やかに生活されている	玄関入り口にベンチを設置している。共用の空間は開放的で、採光や換気、温度、湿度に配慮し清潔である。壁には行事の写真や利用者の作品が飾られ、季節感を大事にした花や飾りつけがされている。ニガウリの緑のカーテンなどで四季を感じながら居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	話好きな利用者の方や歌好きな方、テレビ視聴される方達が居間や和室ソファア又は自室にて思い思いに過ごされている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は使い慣れた布団や枕、椅子や小さなテーブル道具箱、家族の写真や花好きの方は花鉢が飾ってあり、それぞれに自分の部屋づくりをされている。	ベッドや物入れ・エアコンを備えた和室に、本人の使い慣れたテレビやラジオ・寝具を持ち込み、写真や人形・鏡・花鉢などの好みの物を飾って、本人が居心地良く過ごせるような部屋作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	表札や各部屋に名札（竹）が有り自室の確認をされている。手すりは全てに設置されていて、車椅子用トイレ男性用トイレもある。居間や和室ソファアにてテレビを観たり自分のペースで安心して過ごされるよう環境整備に努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない